

平成28年度 天王寺区運営方針（素案）について

天王寺区区政会議

平成27年12月18日（金）

区の目標（何をめざすのか）

- ・ みんなの「思い」が区政に反映されているまち
- ・ 未来を担う人材が育成されているまち
～日本一の文教「都市」の実現～
- ・ 「命を守る政策」がしっかりと進められているまち
- ・ 歴史的・文化的資産を活かして多くの人が集いにぎわうまち

区の使命（どのような役割を担うのか）

- ・ 区民に対してさまざまな政策を提案し、区政の主役である区民に選択していただく。
- ・ 地方自治の新たな地平を拓くことを区民とともにめざす。
- ・ 施設の管理運営費の圧縮など徹底した歳出削減を行い、災害対策への予算の重点配分や、地域の未来を担う人材の育成、高齢者福祉の強化への取組を進める。

区運営の基本的な考え方（区長の方針）

- ・ 多様な「サイレント・マジョリティ」の声を集約し区政運営に反映させる。
⇒【経営課題1】
- ・ 地域特性を活かして未来を担う人材の育成に取り組み、日本一の文教「都市」をめざす。
⇒【経営課題2】
- ・ 独居高齢者について、これまでの地域の見守り活動とも連携を図りつつ見守りを推進し、交流機会の充実を図る。
⇒【経営課題3】
- ・ 区民一人ひとりの「災害対策リテラシー」強化による自助力の向上、及び防犯対策の強化に取り組む。
⇒【経営課題4】
- ・ 「天王寺 真田幸村博」を機に動き出した地域独自の取組を基本に、主体的にシティ・プロモーションを展開できるよう活動しやすい基盤づくりや情報発信の強化に取り組む。
⇒【経営課題5】
- ・ 地域一体となった地域課題解決、地域活性化に取り組む「地域活動協議会」運営を支援する。
⇒【経営課題6】

区運営方針（素案）の策定にあたって…

区政会議で

いただいたご意見※

運営方針（素案）に
反映しています！

「☆」マークが、ご意見を
反映した事業です

27運営方針中間振り返り

中間振り返りで、運営方針に
掲げる主要事業の進捗状況
等を確認、方針を検討します

素案

PD“L”CAサイクルの徹底

全事業について、区民の声※
(L=Listen)を重視、事業の
方向性（拡大・継続・縮小）の
判断に統一的に活用します

※区民モニター、つなげ隊アンケート

※いただいたご意見は27年度事業に反映済みの
ものもあります。詳しくは「巻末」をご覧ください。



独自の事業評価 -PD “L” CA サイクル- の徹底

- ＊ 全ての事務事業について、聴取した“区民の声”を、予算や施策の展開に反映させる、天王寺区独自の事業評価
PD “L” CAサイクル(L=Listen^(聴取))を導入（平成26年度～）
- ＊ 「PD “L” CAサイクルに基づく事業の方向性等の判断基準」を策定し、“区民の声”を、事業の方向性（拡大・継続・縮小）の判断に、より統一的、体系的に反映（平成27年度～）

ステップ1

事業を継続する場合、次の要件を満たすことを基本とする。

- 区民モニター（及びつなげ隊アンケート※）による「事業の方向性」の調査結果
⇒ 「拡大」＋「継続」の割合が、60パーセント以上

ステップ2

ただし、次の要件に該当する場合、廃止又は再構築する。

- 参加者（利用者）アンケートによる「満足度」調査結果
⇒ 「肯定的意見」の割合が、60パーセント未満

※ 27実施のつなげ隊アンケートは、「事業の方向性」を聴取していない事業もあるので、参考扱いであるが、今後は聴取し判断の基礎資料とする。

【経営課題 1】 区民の声集約プロセスの強化

○あなたの声をつなげ隊による区民意見の聴取 ☆

区政運営にかかる意見や評価をいただくために、区民の声集約チーム「あなたの声をつなげ隊」のメンバーが、区民に直接、意見聴取を実施

<参 考>会議意見

つなげ隊の活動する風景を見かけないので区民にわかるように活動した方がよい。

○区政運営の“見える化”を意識した情報発信の強化 ☆

区広報紙や広報板、ホームページ等を活用し、聴取した意見の区政への反映状況について、“見える化”を意識しながら、分かりやすい情報発信を行う（区民の声の反映状況の特集号、区内広報板(76箇所)での反映事例の紹介、Facebookによる情報発信など）。

<参 考>会議意見

「意見が区役所に届いていると感じている区民の割合」が約3割は少ない。

【経営課題2】 「日本一の文教『都市』」を めざした人材育成の取組と海外人材の活用

○グローバル人材の育成

継続

- ・英語ディベートスクール

中学生を対象に、実践的な英対話力を向上させるためのディベートスクールを開催

- ・英語体験活動

新たに小学生を対象として、英対話力向上の素地を養う体験学習を実施

<参 考>モニター結果 拡大+継続 60% 縮小12%

○子どもの将来のための投資の促進

拡大

天王寺区に生まれた子どもを持つ家庭を対象に、乳幼児期から子どもの体験・教育等の機会を提供する仕組みとして子育てスタート応援券（クーポン券：10,000円分）を交付する。
（平成28年度新規対象者数（見込み） 780名）

<参 考>モニター結果 拡大+継続 61% 縮小10%

【経営課題3】

お年寄り1人1人の命を守り抜く地域福祉

＜高齢者見守り体制の構築＞

①独居高齢者等見守りサポーター事業

地域住民などを中心としたボランティアが独居高齢者、高齢者のみ世帯（介護保険のサービスを受けている方は除く）の家庭訪問を行い、医療・介護等の課題への早期発見・早期対応を図る。

②地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業

避難行動要支援者名簿に登録されている要援護者に対して、地域における平時の見守りと災害時の避難支援への備えを強化

＜参 考＞

①モニター結果 拡大+継続 71% 縮小5%

【経営課題4】 より多くの人の 「災害対策リテラシー」を向上する事業の追求

＜減災のための取組みの強化（事前の備え）＞

①区民巻き込みオペレーション（出前講座）☆

②家具転倒防止器具取付啓発事業☆ **再構築**

区民自ら器具取付を実行できるよう取付方法や器具購入に関する情報等を紹介するパンフレットを作成し、取付の必要性について広く啓発

③地域防災計画の策定

＜参 考＞会議意見

①防災に関して特に手厚くしてほしい。

②若い世代にも対象を拡げるべき。

モニター結果

拡大+継続 57% 縮小9%

拡大+継続 61% 縮小11%

＜減災のための取組みの強化（被災後の備え）＞

①防災拠点の充実

災害時避難所の備蓄品を充実し、福祉避難所を追加指定

②避難行動要支援者支援体制の構築☆

大規模災害発生時、避難等に支援が必要で、かつ、自宅で生活する避難行動要支援者について、支援体制を構築（3地域）

＜参 考＞

①モニター結果 拡大+継続 68% 縮小2%

②会議意見 独居高齢者対策について、災害時に向けて見守りの取組は強化すべき。

【経営課題4】の続き…

<安全・安心の確保（子どもが被害に遭わないための取組）>

継続

○防犯カメラの公設置

引き続き、25台を増設
（これまでの取組）

平成25・26年度 各10台 平成27年度 30台 累計:50台を設置(見込)

<参 考>モニター結果 拡大+継続 74% 縮小1%

<安全・安心の確保（迷惑駐輪防止および自転車マナー啓発の取組）>

①自転車利用適正化事業「Do!プラン」☆

- ・ 地域等と協働した放置自転車対策啓発活動の実施（ゆめまちロード）
- ・ 有償サイクルサポーターの配置

②放置自転車の撤去及び駐輪場の増設☆

- ・ 放置自転車の撤去
- ・ 駅周辺での駐輪場増設の検討

<参 考>

①会議意見 坂道、危険個所も多いので、高齢者に配慮した自転車マナーの向上が必要。
モニター結果 拡大+継続 66% 縮小8%

②会議意見 駐輪場の増設整備をしてほしい。

【経営課題5】 戦略的なシティ・プロモーションの推進

○天王寺区魅力発信・にぎわいづくり事業

「歴史的・文化的資産を活かして多くの人が集いにぎわうまち」を実現するため、地域住民・地域団体・企業等が主体的に行う天王寺区の魅力発信につながる取組みについて、区が有する広報媒体等を活用した情報発信などの支援を行う。

- ・イメージポスターの作成・配布
- ・上町台地周遊マップ(28年度版) の作成・配布
- ・吹奏楽フェスティバルの開催 など

拡大

<参 考>モニター結果

(吹奏楽フェスティバル) 拡大+継続 64% 縮小6%

【経営課題6】

大きな公共を担う活力ある地域社会づくり

○地域活動協議会を核とした自律した地域運営の支援

地域活動協議会の自律的な運営・活動を促進し、地域コミュニティの機能の向上を図るため、地域活動協議会に対し財政的支援を行う。

<参 考>モニター結果：拡大+継続 59% 縮小9%

○中間支援組織の活用

自律的な地域運営の仕組みづくりを行うため、地域活動協議会に対し、中間支援組織を活用した支援を行う。

28年度運営方針策定のスケジュール

平成27年12月18日

第2回区政会議で素案を議論



平成28年1月下旬

運営方針（案）公表予定



4月上旬

運営方針の確定・公表



28年度も頑張ってまいります。
ありがとうございました。